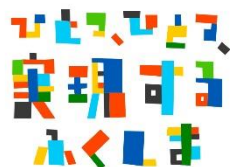


侵入を警戒する外来カミキリについて

果樹研究所 病害虫科



クビアカツヤカミキリ

形態：体長22～38mm

個体間のばらつきが大きい

- ・国内で発生している個体群は
前胸背板が鮮やかな赤色
頭部・腹部はツヤのある黒色

- ・ベトナム北部の個体群は
すべて黒色

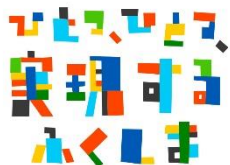
分布

原産国：中国・韓国・台湾・ベトナム

発生：日本・モンゴル・イタリア・ドイツ
ロシア



クビアカツヤカミキリの成虫



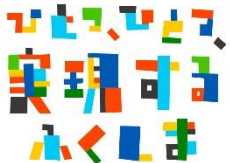
写真は農研機構から提供

クビアカツヤカミキリの繁殖能力

- ・成熟卵の長さは約2mm
色は黄色から白色
- ・樹皮の割れ目や樹皮下に
バラバラと産む
- ・モモでは主枝・亜主枝など
比較的高い部位にも
産卵する
- ・1雌あたり平均382卵、
最大1,256卵産卵
→極めて高い繁殖力



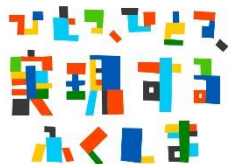
クビアカツヤカミキリの卵(矢印)



写真は農研機構から提供

クビアカツヤカミキリの寄主植物

- バラ科の*Prunus*属を主な寄主とする
- 国内においては、ウメ、モモ、スモモなどの核果類やサクラ（ソメイヨシノ）での寄生が報告されている
- その他に、オウトウ・カキノキ、チュウゴクナシ、クワ属、ヤナギ属などもホストとして文献に記載されているが、国内での被害は報告されていない



クビアカツヤカミキリ被害

- ・ フラス(木くずとフンの混ざったもの) は、かりんとう状で多量に出る
- ・ **モモ、サクラ**では樹体が枯死する深刻な被害が発生している

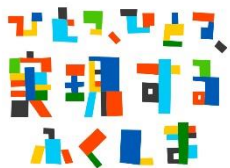


クビアカツヤカミキリのフラス

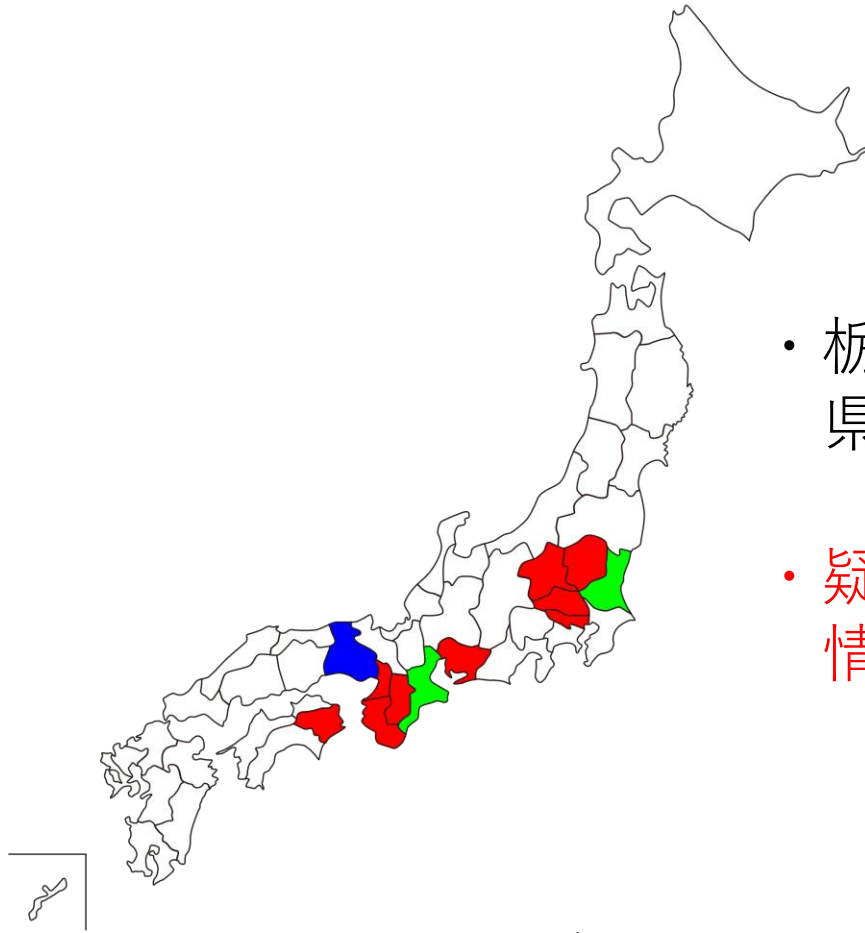


クビアカツヤカミキリの被害

写真は農研機構から提供



国内での発生状況(2019年12月現在)



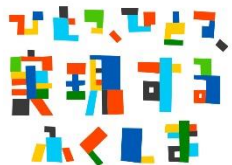
・ 栃木県、茨城県まで発生しており
県内での発生を警戒

・ 疑わしい虫や被害を発見したら
情報提供を！

■ : 特殊報が発表された都府県

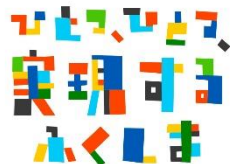
■ : 果樹以外で発生

■ : 根絶



図は農研機構から提供

昨年度県内での発生が確認された 外来カミキリ



ツヤハダゴマダラカミキリ

形態：体長 雄20～29mm
雌22～35mm

在来種のゴマダラカミキリとの違い

- ・ 上翅基部に顆粒状突起を持たずツルツルしている
- ・ 前胸背・上翅基部に白紋がない

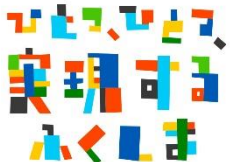


ツヤハダゴマダラカミキリの成虫

分布

原産：中国・韓国

発生：アメリカ・オーストリア・フィンランド
日本・フランス・ドイツなど

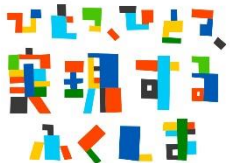


ツヤハダゴマダラカミキリ被害・寄主植物

寄主植物：カエデ科、トチノキ科、カツラ科
(県内)



ツヤハダゴマダラカミキリの被害（トチノキ）



サビイロクワカミキリ

形態：雄成虫 28～33mm
雌成虫 33～39mm

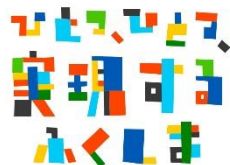
雄は体長より触角が長いが、
雌は触角のほうが短い

繁殖能力：1雌あたり27～62個の卵
を産む

分布：中国、インド、韓国、ラオス、マレーシア、
タイ、ベトナム



サビイロクワカミキリの成虫



写真は（有）さくら造園緑地・安齋由香理氏より提供

福島県農業総合センター Fukushima Agricultural Technology Centre

サビイロクワカミキリ被害・寄主植物

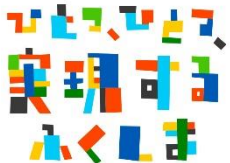
寄主植物：エンジュ、イヌエンジュ
(県内)



サビイロクワカミキリの脱出孔



サビイロクワカミキリのフラス



写真は（有）さくら造園緑地・安齋由香理氏より提供

福島県農業総合センター Fukushima Agricultural Technology Centre